PART2 経済体制のあゆみ

Chapter1　２つの経済体制のあゆみ

目標
資本主義経済のあゆみを理解しよう。
社会主義経済のあゆみを理解しよう。

1　資本主義経済のあゆみ

①初期資本主義

利潤を求め資本を蓄積し，生産を拡大しようとする動機づけを持つ**商業資本家**が登場。問屋制家内工業から**マニュファクチュア〔工場制手工業〕**の段階へ。

②〔　　　　〕**革命**（18 世紀後半～）

イギリスで始まった，蒸気機関の発明による**工場制機械工業**化。

③古典的資本主義〔産業資本主義〕

工場・機械などを所有し，生産を行う産業資本が成立。**産業資本家**による自由競争を原則とする，**資本主義経済が確立**した。

④〔　　　　〕**資本主義**

19 世紀後半になると，資本主義・〔　　　　〕**経済**の負の側面が目立ち，多くの産業分野で**独占化・寡占化**が進行し，貧富の差が拡大した。

※大量生産・大量輸送が可能になると，資本家・企業は規模の利益〔スケールメリット〕を得ることに多大な関心を持つようになり，**株式会社制度の発達**がこれを促進した。

A　資本の集積・集中→市場の独占化・寡占化

B　激しい景気変動→恐慌の発生

C　帝国主義の拡大にもつながる

　　原料供給地や生産物の販路を求めて，国家が植民地獲得を目指す

D　国家独占資本主義も生み出す→戦前の日本・ドイツ・イタリアが典型的

E　貧富の差の拡大→格差の固定化

⑤現代的資本主義〔修正資本主義〕

自由競争や市場原理の利点を生かしつつ，政府が積極的に経済活動に介入。特に〔　　　　　　　〕（1929～33年）以後，市場メカニズムへの信頼が揺らぎ，政府や中央銀行による経済への介入が求められるようになった。

2　社会主義経済のあゆみ

①社会主義経済の成立

私有財産制と利潤追求の自由を否定し，生産手段の公有〔社会的所有〕，〔　　　　　〕**経済**，階級のない社会の実現を目的とする。ロシア革命を起こしたレーニンがマルクスの思想を発展させたもので，マルクス・レーニン主義と呼ばれる。

1922年　**ソヴィエト社会主義共和国連邦〔ソ連〕**成立

1924年　チョイバルサンによりモンゴル人民共和国成立

②社会主義経済の変容

当初は計画経済により景気循環や失業はなくなるとされたが，やがて工業生産の不振と生産性の低下に苦しむようになり，市場経済の要素を採り入れざるを得なくなった。

1928年　ソ連のスターリンによる第一次五カ年計画（～32年，第二次 1933～37年）

1929年　アメリカ発の世界恐慌の影響は受けず

1945年　第二次世界大戦終結により東欧など各地に社会主義国が誕生

1948年　金日成により**朝鮮民主主義人民共和国〔北朝鮮〕**成立

1949年　毛沢東により〔　　　　　　　　　　　　〕成立

1959年　カストロやゲバラによる〔　　　　　　　〕**革命**

1978年　鄧小平により中国の改革・開放政策開始

※社会主義市場経済を導入，経済特区も設置。

1985年　ソ連のゴルバチョフによるペレストロイカ〔改革〕開始

1986年　**ベトナム**のドイモイ〔刷新〕政策開始

1989年　ベルリンの壁崩壊（翌年まで続く東欧革命の一部）

マルタ会談により**東西冷戦終結**

1991年　ソ連解体→ＣＩＳ〔独立国家共同体〕成立

1997年　イギリスから中国に香港返還

1999年　ポルトガルから中国にマカオ返還

2010年　中国のＧＤＰ〔国内総生産〕世界第２位に

2015年　キューバが社会主義市場経済に移行

ベトナムの発展

まとめ

資本主義経済は産業革命を機に確立したが，世界恐慌後修正が求められた。
社会主義経済はソ連とともに成立したが，市場経済化していった。

Chapter2　経済思想のあゆみ

目標　19世紀後半の経済思想のターニングポイントを理解しよう。
世界恐慌の影響を唯一受けなかった国はどこか考えてみよう。

1　前近代の経済思想

①〔　　　　　〕**主義**→ 16～18世紀半ば

「国家の富は金・銀や貨幣のみ（＝重金主義）」のち「国家の富は貿易の差額によって蓄積される金・銀や貨幣のみ（＝貿易差額主義）」

※国内産業を保護して輸出の振興に努める〔　　　　　〕**貿易**政策がとられた。

②**重農主義**

「農業労働だけが富を生む産業」とした考えで, **自由放任主義〔レッセ＝フェール〕**を主張。

③（イギリス）**古典派経済学**→ 18～19 世紀

A　〔　　　　　　　　　　　　〕**（英）**→主著『**国富論〔諸国民の富〕**』

各人が自由な経済活動を行えば神の「**見えざる手**」により社会の調和が生まれる

※「**小さな政府**」「夜警国家」。

B　**リカード（英）**

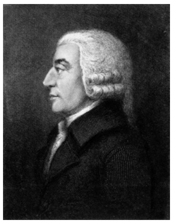
〔　　　　　　　　　　　〕を唱え**自由貿易論**を展開

④（ドイツ）歴史学派経済学

リスト（独）が, **保護貿易論**を展開。後進国の幼稚産業を保護するべきと説いた。

⑤〔　　　　　　　〕**経済学**

マルクス（独）が, 友人エンゲルス（独）の協力・援助を受けて『〔　　　　　　〕』を著し, 資本主義の矛盾を克服し人間性を回復することを目指す。資本主義に基づく市場経済は諸問題を自らの力では解決できないため, 社会主義・共産主義に基づく計画経済への移行が必然だとして, 革命を起こすことを説いた。



アダム＝スミス

2　近現代の経済思想

①近代経済学

1870年代以降の，マルクス経済学に対するその他の経済学の総称。特に世界恐慌以後は市場が機能不全に陥り，政府が介入して問題を解決する**修正資本主義**が成立，**混合経済**体制となった。

※世界恐慌後，アメリカはニューディール政策，イギリス・フランスはブロック経済政策を展開。**ソ連は世界恐慌の影響なし**。

※特に〔　　　　　　　　〕**（英）**は，**有効需要**（＝貨幣の支出を伴う需要）が拡大し景気回復・**完全雇用**を達成できることを理論化し「**大きな政府**」への道を開いた。

②現代経済学

第二次世界大戦後，主要先進国は高度成長を達成したが，1970年代に２度の石油危機を経験して**スタグフレーション**（不況下の物価高）に悩まされるようになった。

※ 1980年前後には，あえて「小さな政府」を目指す**新自由主義〔ネオ＝リベラリズム〕**も流行した。

A　シュンペーター（墺）

技術革新を起こす「創造的破壊」こそが経済発展の原動力であるとした

B　フリードマン（米）

ケインズ理論を批判して「小さな政府」への復帰を主張

C　セン（印）

潜在能力〔ケイパビリティ〕＝アプローチを説く

③実物経済から金融経済へ

1997年　〔　　　　　　〕**通貨危機**

2008年　アメリカ発の**世界金融危機**

④経済のグローバル化

貿易・直接投資・金融の３局面で国境を越えた相互依存と一体化が強まる。

〔　　　　　　〕**企業**の活躍により，国際資本移動の自由化が実現。

まとめ

19世紀後半以降，マルクス経済学の登場が経済思想のターニングポイントとなった。

世界恐慌の影響を唯一受けなかったのは計画経済のソ連だった。

第９講　PART2　確認問題

1　資本主義経済のあゆみとして正しいものはどれか。

①　産業革命→産業資本主義→独占資本主義
②　産業革命→独占資本主義→産業資本主義
③　産業資本主義→産業革命→独占資本主義
④　産業資本主義→独占資本主義→産業革命

2　商業資本家が登場したのはどの段階か。

①　初期資本主義　　②　古典的資本主義
③　独占資本主義　　④　修正資本主義

3　世界的に市場メカニズムへの信頼が揺らぎ，政府や中央銀行による経済への介入が求められるようになったのはいつ以降か。

①　第二次石油ショック　　②　世界恐慌
③　世界金融危機　　④　アジア通貨危機

4　第二次世界大戦後の 1948年に成立した社会主義国はどこか。

①　中華人民共和国　　②　ソヴィエト社会主義共和国連邦〔ソ連〕
③　ＣＩＳ〔独立国家共同体〕　　④　朝鮮民主主義人民共和国〔北朝鮮〕

5　重商主義と関連があるのはどれか。

①　自由放任主義　　②　貿易差額主義
③　保護貿易論　　④　自由貿易論

6 比較生産費説を唱え自由貿易論を展開したのはだれか。

① マルクス ② アダム＝スミス
③ リカード ④ ケインズ

7 資本主義の矛盾を克服し人間性を回復することを目指す学問はどれか。

① 歴史学派経済学 ② マルクス経済学
③ 古典派経済学 ④ 近代経済学

8 有効需要の拡大により景気回復・完全雇用を達成できることを理論化したのはだれか。

① ケインズ ② セン
③ フリードマン ④ シュンペーター

9 1980年代に台頭した，市場メカニズムを重視して「小さな政府」を目指す考え方はどれか。

① 自由放任主義 ② 重金主義
③ 新自由主義 ④ 修正資本主義

10 2008年に起こったできごとはどれか。

① 世界恐慌 ② 世界金融危機
③ アジア通貨危機 ④ 石油危機

第 9 講　PART2　確認問題　解答

1 解答：①

産業革命（18 世紀後半）→産業資本主義（19 世紀前半）→独占資本主義（19 世紀後半）の順。

2 解答：①

商業資本家とは利潤を求め資本を蓄積し，生産を拡大しようとする動機づけを持つ資本家で，初期資本主義において登場した。

②：工場・機械などを所有し，生産を行う産業資本家が登場した。
③：多くの産業分野で独占化･寡占化が進行し，貧富の差が拡大した。
④：自由競争や市場原理の利点を生かしつつ，政府が積極的に経済活動に介入した。

3 解答：②

世界恐慌は 1929～33 年のできごとである。

①：1979～80 年のできごと。
③：2008 年のできごと。
④：1997 年のできごと。

4 解答：④

朝鮮民主主義人民共和国〔北朝鮮〕は金日成により成立した。

①：1949 年に毛沢東により成立した。
②：1922 年，世界初の社会主義国として成立した。
③：ソ連解体後の 1991 年に成立した。

5 解答：②

貿易差額主義とは，「国家の富は貿易の差額によって蓄積される金・銀や貨幣のみ」とする考え方。

①：重農主義と関連がある。
③：歴史学派経済学と関連がある。
④：古典派経済学と関連がある。

6 解答：③

比較生産費説とは，各国が，自国の得意な商品の生産に特化して輸出し，不得意な商品を外国から輸入する方が双方の国とも利益があるとする説。

①：社会主義・共産主義に基づく計画経済への移行が必然であると説いた。
②：各人の自由な経済活動により社会の調和が生まれると説いた。
④：有効需要の拡大により景気回復・完全雇用を達成できることを理論化した。

7 解答：②

マルクス経済学は，社会主義経済への必然的移行を説いた。

①：後進国の幼稚産業を保護するべきと説いた。
③：各人の自由な経済活動により社会の調和が生まれると説いた。
④：非マルクス経済学の立場から，政府が介入して問題を解決すべきと説いた。

8 解答：①

ケインズは，資本主義国において失業をなくし完全雇用を実現するための理論を説いた。

②：潜在能力〔ケイパビリティ〕＝アプローチを説いた。
③：ケインズ理論を批判して「小さな政府」への復帰を主張した。
④：技術革新を起こす「創造的破壊」こそが経済発展の原動力であるとした。

9 **解答：③**　新自由主義はネオ＝リベラリズムとも呼ばれ，現代経済学で唱えられた。

①：重農主義で唱えられた後，18～19 世紀の古典派経済学で確立された。
②：「国家の富は金・銀や貨幣のみ」とする考え方で，重商主義の初期に唱えられた。
④：政府が積極的に経済活動に介入すべきとする考え方で，近代経済学で唱えられた。

10 **解答：②**　世界金融危機は，アメリカのサブプライムローン問題を契機に発生し，世界中に波及した金融危機のこと。

①：1929～33 年のできごと。
③：1997 年のできごと。
④：1970 年代のできごと。